

科目名		小児科学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

作業療法の分野として療育やリハビリテーション、福祉の分野も含んで小児を対象とすることがある。作業療法士として学んでおくべき普遍的に見られる小児の疾患について理解する。

【授業全体の内容の概要】

小児の正常発達を含め、新生児期、乳幼児期等各ライフステージに起こりやすい疾病とその対応について学ぶ。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

基礎知識として、小児の発達や疾患について理解し、作業療法士としての留意事項を身につける。

回数	講義内容
1	小児科学概論：小児の成長と発達
2	診断と治療・子どもの病気の特徴
3	新生児・未熟児疾患・先天異常
4	神経・筋・骨系疾患
5	循環器疾患・呼吸器疾患・感染症
6	消化器疾患・代謝疾患・血液疾患・アレルギー疾患
7	腎泌尿器・習癖・心身症
8	眼科・耳鼻科 振り返り
	定期筆記試験

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学	富田 豊	医学書院

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

定期試験にて評価する。